そよかぜ

毎日新聞西部社会事業団だより

第84号　2012年10月

発行所　〒802－8651
北九州市小倉北区紺屋町13-1
(財)毎日新聞西部社会事業団
発行人　木村　雄峰
電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009
E-mail：s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp
郵便振替　01770-2-40213
ＵＲＬ　http://www.mainichi.co.jp/seibu_shakaijigyo/

毎日社会福祉顕彰贈呈式

1個人2団体に賞金と賞牌

社会福祉の向上に尽くした個人・団体を顕彰する第42回毎日社会福祉顕彰（毎日新聞社会事業団主催、厚生労働省、全国社会福祉協議会後援）の贈呈式が10月10日、東京都千代田区の毎日新聞東京本社で開かれ、認定ＮＰＯ法人シェアの代表理事の医師、本田徹さん（東京都豊島区）▽社会福祉法人博愛会福祉農場コロニー久住（大分県竹田市）▽公益社団法人やどかりの里（さいたま市見沼区）の1個人と2団体が受賞＝写真。朝比奈豊理事長（毎日新聞社社長）が個人と団体代表に賞牌と賞金１００万円を贈った。受賞者と受賞団体の顕彰事由は次の通り。

本田徹さん（医師、ＮＰＯ法人シェア代表理事）　□認定ＮＰＯ法人シェアの代表理事でもある本田徹医師は、約30年前から日雇い労働者の街、東京・山谷で診療を続けてきた。過酷な労働や路上生活で重い病気にかかる人が多いうえ、身寄りもなく、60歳を過ぎれば仕事もなくなり、生活保護が頼り。昨年の震災では気仙沼に駆けつけ、市民組織を立ち上げて障害者や高齢者を支援した。国内にとどまらず、アジア、アフリカなど紛争地帯での医療活動を続け、東ティモールでは10年にわたり保健教育に取り組んでいる。

社会福祉法人博愛会福祉農場コロニー久住（釘宮卓司・理事長兼施設長）　大分県竹田市の22ヘクタールの敷地の中で、知的障害を持つ入所者約１００人が、指導を受けながら野菜作りや畜産、食品加工に励んでいる。仕入れから生産、販売まで障害者みずからがその活動を担い、中には農業専従者として農事組合法人へ就職する人もいる。生産品は施設利用者の食事に供されるほか、博愛会が運営するレストランや温泉施設などに提供し、地域住民や観光客との交流を通じて社会参加を進めている。

公益社団法人やどかりの里（土橋敏孝・理事長）　１９７０年の設立以来、精神障害のある人たちに住まいや働く場を提供し、生活を支えてきた。90年からは通いながら職業訓練できる通所授産施設をつくるとともに、精神病院に入院中、あるいは退院後に短期間の宿泊と食事サービスを提供する社会復帰のための生活支援センターを三か所つくった。その後、障害や福祉の専門書を制作する「やどかり情報館」も設立し精神障害者が編集から印刷、製本までを担っている。

東日本大震災救援金

3事業団合わせ10億円を超す

毎日新聞社と毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団は10月15日、寄せられた東日本大震災救援金2507万9017円を新たに日本赤十字社に寄託した。これにより同事業団から日赤などに寄託した総額は1万9102件、10億3021万8434円となった。

贈呈先は日赤のほか、岩手県災害義援金募集委員会、宮城県災害対策本部、福島県災害対策本部となっている。

九州北部豪雨水害救援金には100万円余

7月の九州北部豪雨災害発生を受け、毎日新聞社と社会事業団が社告を掲載して呼び掛けた救援金は、8月末までの期間に全国から34件105万9954円が寄せられた。これを3分割して被害が大きかった熊本、大分、福岡の3県にある日赤県支部に送金した。

ご寄託、ご協力ありがとうございます！

にこにこスマイルキャンプin九州

仲間と共に将来の夢や体験語り合う

□小児がんを経験した子供たちが交流する「にこにこスマイルキャンプin九州」が、2012年8月18日から1泊2日の日程で八女市山内の県立ふれあいの家南筑後を会場に開かれた。

闘病中や病を克服した小、中、高校生と社会人の23人が九州各地から参加し、病気を通しての経験や将来の夢など、前向きに生きる思いを語り合っていた。

福岡市南区の九州がんセンターの臨床心理士や看護師、小児がん経験者らでつくる実行委が主催。10年から春と夏にキャンプを開いており、西部社会事業団はスタート時から助成を続けている。

□初日は支援スタッフたちとバーベキューやキャンドルナイトなどを楽しみ、テーマ別に6グループに分かれ話し合った。「進学・就職」がテーマのグループでは、「長期入院の後、学校に行くと授業がさっぱり分からなくて困った」「親は病気のことを心配するが、自分でやってみたいことは何でも挑戦してみるべきだ」など、それぞれが経験談や思いを披露し合っていた。

□初めて参加した鹿児島市の小学5年男子は「親元を離れて家と違う生活が体験できるのは、うれしい」と笑顔で話していた。

キャンプを楽しむ児童・生徒たち。今年は23人が参加した

歳末恒例のチャリティー即売展

今年も北九州、山口、福岡の3会場で開催

毎日新聞西部社会事業団の歳末恒例チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」は、今歳末も例年通り、北九州、山口、福岡の3会場で、下記の日程で開催します。

チャリティー即売展は、全国各地で活躍されている画家や陶・工芸家、書家をはじめ名刹・古刹の高僧やイラストレーター、漫画家、文筆家、芸能人ら各界の著名な方々から寄贈された作品を、寄贈者の特別の計らいで市価よりも大幅に安いチャリティー価格で販売します。中には人間国宝や日本芸術院会員といった我が国を代表する芸術家や人気作家の先生方から、超一級の作品が数多く寄贈・出品されます。

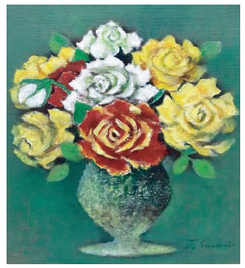
入札は各会場とも昨年と同様、2日目午前11時半に締め切り、直ちに開票集計し、落札者にはその場で作品をお渡しします。なお主な出品作品などは当事業団ホームページ(http://www.mainichi.co.jp/seibu_shakaijigyo/)で紹介しています。

また歳末展で残となった作品をさらに値引きして即売する年度末展も例年通り、北九州会場で13年3月2日（土）の1日だけ開催します。

【北九州会場】
日　時　12月1日(土) 9時半～17時、2日(日)10時～16時
場　所　北九州市小倉北区紺屋町13-1、毎日西部会館5階大ホール及び中ホール

【山口会場】
日　時　12月8日(土)10時～18時、9日(日)10時～16時
場　所　山口市中市町3-3、山口井筒屋5階特設会場

【福岡会場】
日　時　12月22日(土)9時半～17時、23日(日)10時～16時
場　所　福岡市中央区天神1-1-1、アクロス福岡2階・交流ギャラリー

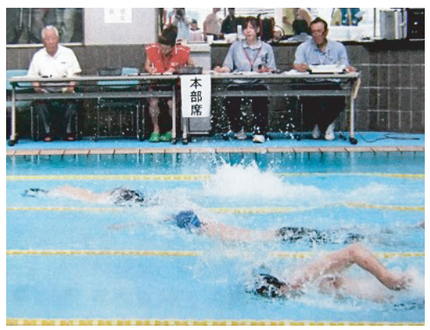


参加選手ら水しぶきを上げて力泳

北九州市障害者水泳大会（市、市障害者スポーツ協会主催、毎日新聞西部社会事業団など後援）が12年7月22日、小倉北区三郎丸の市障害者スポーツセンター「アレアス」で開かれた。

・自由形▽背泳ぎ▽バタフライ▽個人メドレー▽男女混合リレーの6種目に、県内のほか山口、大分両県の小学生から70代までの選手75人が出場。自己ベストを目指して力泳し、大会新記録が出るたびに応援席から大きな歓声がわいていた。この日は14の大会新記録が出て、記録を更新した入賞者はメダルと賞状を手に笑顔で喜んでいた。

今年の障害者水泳大会14の大会新記録が出た



作品の作者と作品名は左上から時計回りに以下の通り。（敬称略）

清水　新也「ひまわり（デルフト）」

西川　篤「日本　明星」

鶴田　一郎「ディスティネーションピンク」

榎本多恵子「薔薇」

ちばてつや「あしたのジョー」

有馬　頼底「雪」

皆様のご来場を担当者一同心よりお待ち致しております